

# こどもを中心としたまちづくり

「色」という視点から、保育・教育×まちづくり

「地域の色・自分の色」研究会の取り組み

「地域の色・自分の色」研究会

照山 龍治



別府市(別府学)

研究会の設置は、2014年。

研究会の目的は、「色という視点から、地域の素晴らしさと、そこで生まれ育った自分の良さを再発見する」こと。

# 1.教材開発と実践活動

①2020年度の取り組み 入門教材「ふるさとのたからもの」(2021年3月刊行)

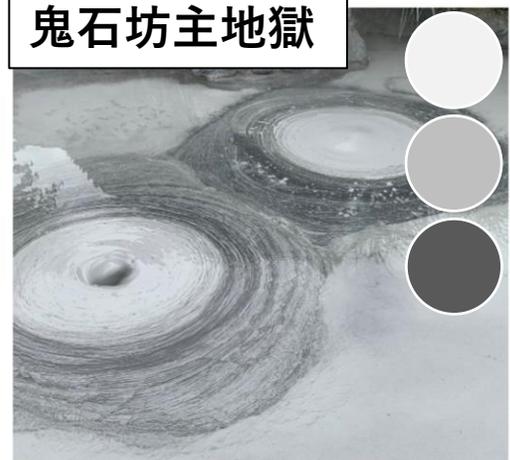
海地獄



血の池地獄



鬼石坊主地獄



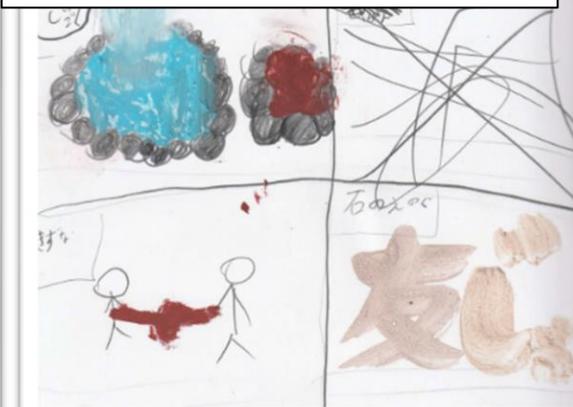
顔料作り(石と顔料)



実践活動(顔料作り)



子どもたちの「宝物」



## ②2021年度の取り組み 実践記録「ふるさとのいろあそび」(2022年3月刊行)

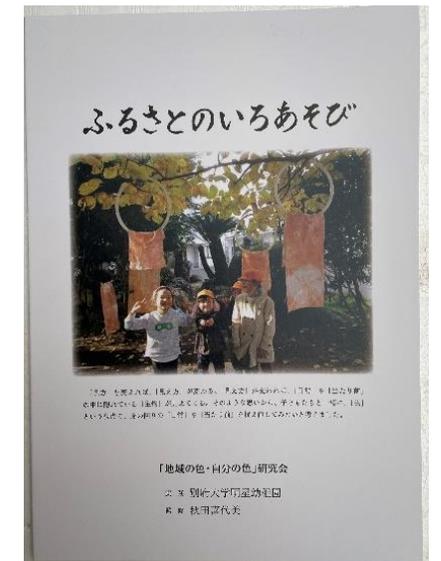
はじめに

1. 色の絵本コーナー
  2. 色みつけ(室内から園庭へ)
  3. 色あそび(園庭から地域へ)
  4. 色こうじょう
  5. 色はくぶつかん
- おわりに

色水作り



血の池地獄の泥染め



③2021年度の取り組み 探究教材「ふるさとのふしぎ」(2022年3月刊行)

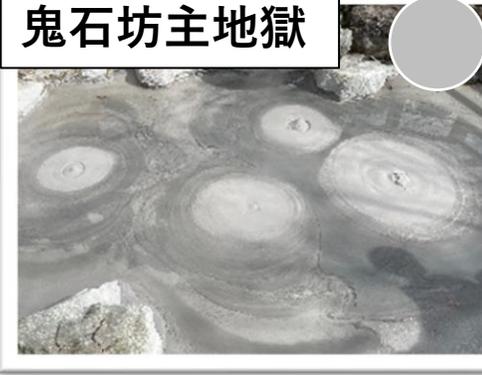
海地獄



血の池地獄



鬼石坊主地獄



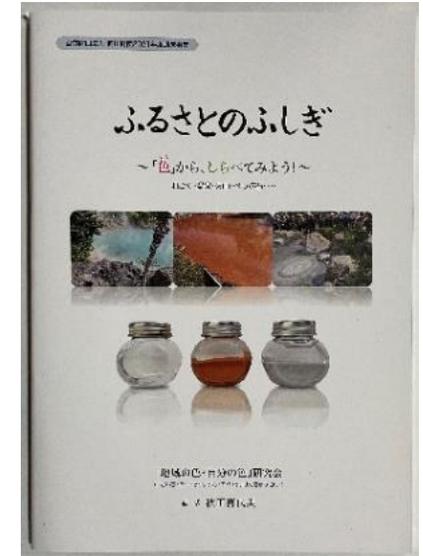
坊主地獄の泥絵



紫キャベツで温泉水の性質分析



血の池地獄泥染め



※以上、三つの教材は、県立図書館、別府市の市立図書館や全市立幼稚園・小中学校に置き、全市立幼稚園・小中学校に対して、教材の活用に向けてのアンケート調査も実施した。

## 2.取り組みの公開「こども色博物館」

第一回 血の池地獄 こども色博物館  
(2020年度助成事業の成果紹介)

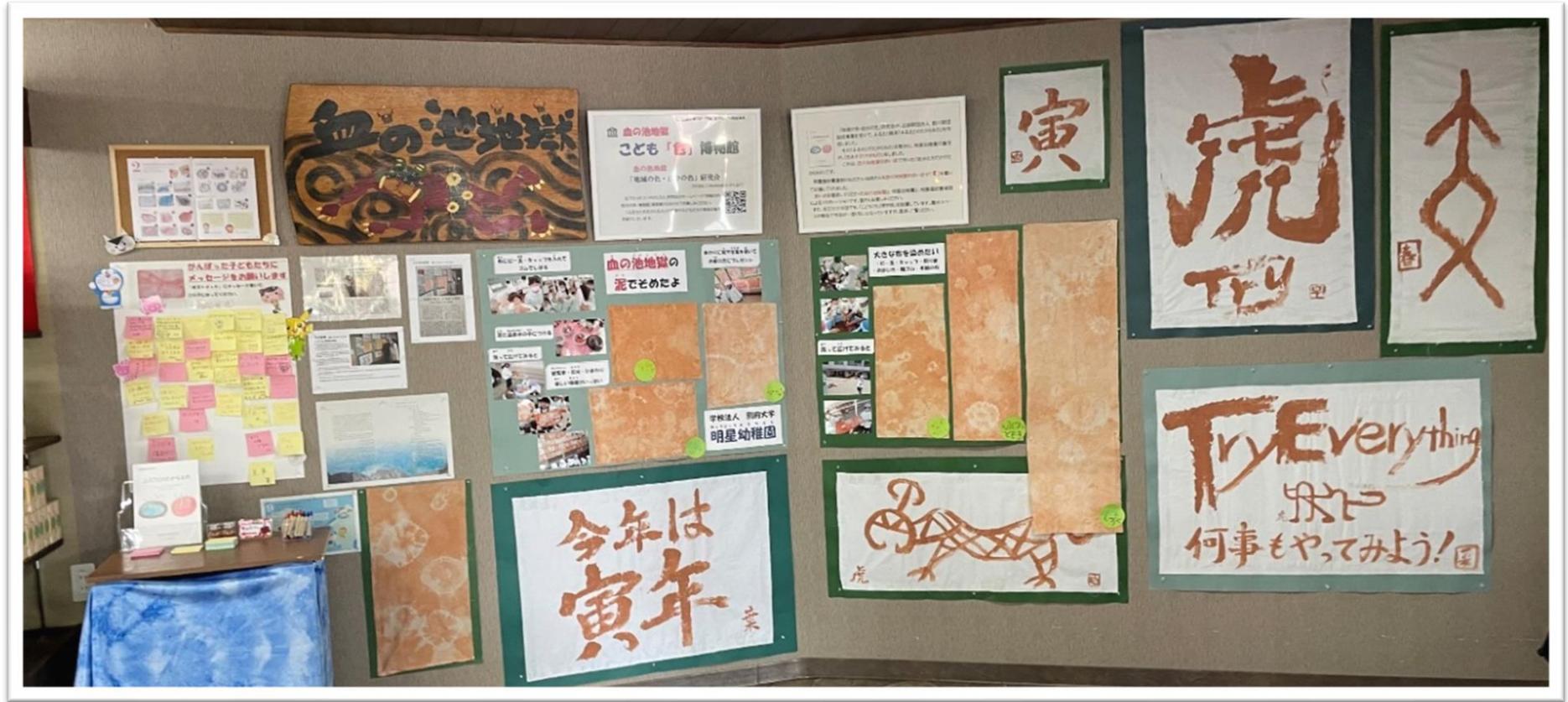
2021年8月3日から9月末日まで



「やわらかい色の絵です」 「自然に生まれた赤色、不思議です」

## 第二回 血の池地獄 こども色博物館(2021年度事業の成果紹介)

2022年1月16日から2月28日まで



「良い取り組みですね。こんなことが出来る貴方たちがうらやましい。大阪の先生より」  
「手ぬぐいの商品化、熱望」「皆さんの楽しそうな布染めの様子が伝わります。地獄の泥の布染め、驚きです。」「別府の地域資源を見直しました。書道部の作品力強いです。別府市」

## 第一回 鬼石坊主地獄 こども色博物館(2021年度事業の成果紹介)

2022年1月16日から2月28日まで



「泥でしか出せない良さがあって素敵です」  
「こどもの考えることっておもしろい」など

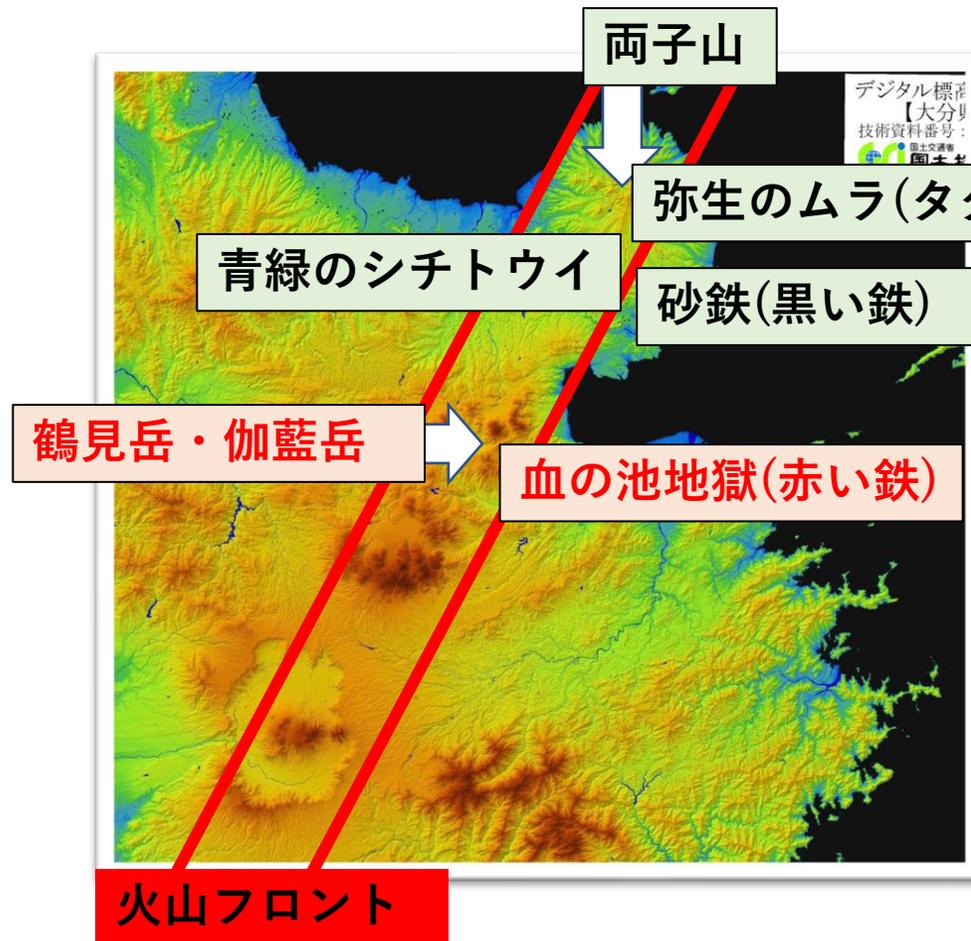


### 3.この取り組みから見たこと

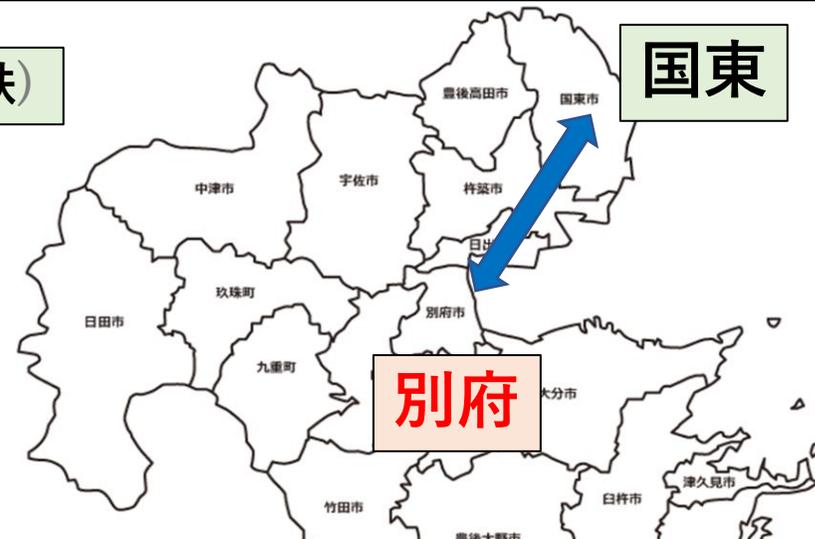
子どもたちの身近な自然や歴史・文化への関心が、子どもたちの探究に繋がり、子どもたちの探究が地域ぐるみの学びに繋がり、地域ぐるみの学びが地域創生やESD、SDGsの取り組みにも繋がっていく

## 4. 取り組みの広がり (別府地域+その他の地域)

### ① 市町村の垣根を超えた子どもたちの交流



国東市でも、安岐中央小学校、小原小学校、旭日小学校、弥生のムラなど



別府市では、鶴見小学校や明星幼稚園に加えて、朝日小学校や鶴見幼稚園、信愛幼稚園など

②2022年度の取り組み 発展教材「ふるさとのだいち」(2023年3月刊行予定)

別府(鶴見岳)

交流

国東(両子山)

血の池地獄の赤い鉄泥



国東海岸の黒い砂鉄



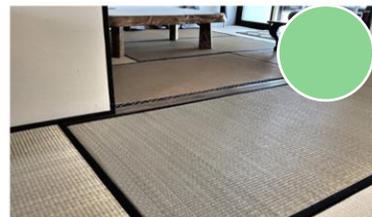
タタラ製鉄



街の礎石・別府石



世界農業遺産(シチトウイ)



シチトウイのミサंगा



火山鎮護の神社



ふるさとのだいち

～ふるさとの大地から生まれた「たからもの」、  
「色」から、しらべてみよう!～  
地獄めぐり、たたら製鉄、世界農業遺産(七瀬の麦)...



「地域の色・自分の色」研究会  
監 査 秋田喜代美

五穀豊穡の六郷満山

